

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/04/24号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

## 需要不安の蒸し返しで80ドル割れ

NY原油先物相場は、1バレル=77ドル台まで下落する展開になった。4月12日に年初来高値更新となる83.53ドルまで値上がりした直後だが、需要不安の織り込みに上値を抑えられ、80ドルの節目を割り込む展開になった。4月20日が5月限の取引最終日だったこともあり、調整売りを進める動きが優勢になった。4月2日にサウジアラビアなど石油輸出国機構（OPEC）プラス参加国が追加減産を発表して以降の最安値を更新した。

供給不安で買われ、需要不安で売られる展開が繰り返されているが、前週は需要不安の織り込みが優勢だった。中国の1～3月期国内総生産（GDP）は前期比2.2%増と底固さを見せたが、原油相場を押し上げるような動きにはつながらなかった。個人消費を中心に中国経済の復調が進んでいることが確認されたが、先行き不透明感の強さもあり、上値を圧迫された。米経済指標も強弱まちまちになっている。鉄鉱石や非鉄金属相場も需要不安に上値を抑えられる展開になった。

米エネルギー情報局（EIA）の米石油在庫（4月14日時点）は、原油が前週比458万バレル減、ガソリンが130万バレル増、石油精製品が36万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

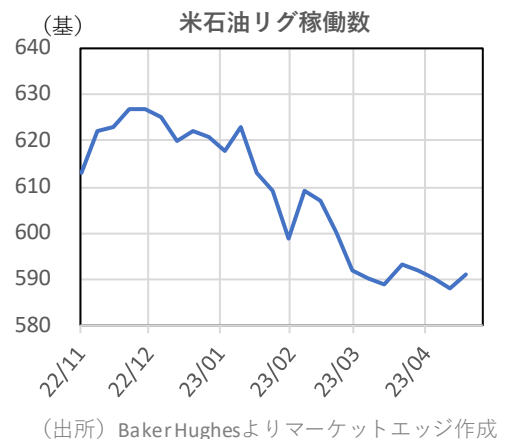
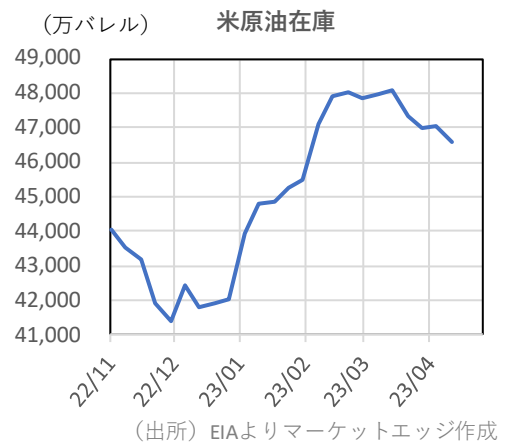
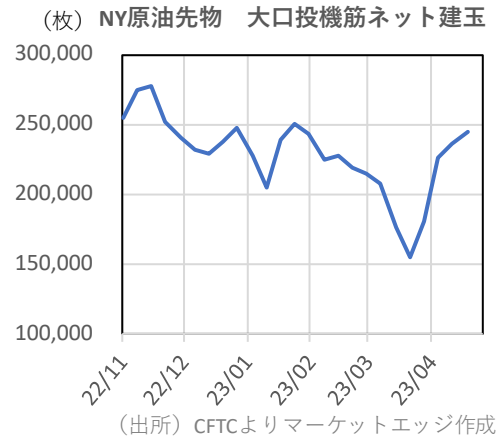
## 【展望】

## 需要不安の消化求められるが、押し目形成に留まるか

改めて需要不安が高まったことで、まずはその消化が求められる。中国などの景気減速懸念を織り込む展開が続いている間は、下振れリスクを残す。特に、前週は大連の鉄鉱石や石炭といった中国経済動向に敏感な資源価格が急落しており、資源価格全体の上値の重さが残されている間は、原油相場も上値の重さを残そう。チャート上では、サウジアラビアなどの減産表明と前後して75.72~79.00ドルにギャップ（窓）が形成されているため、ここを埋めるような動きの有無が週前半の焦点になる。

しかし、前週の急落地合に関しては5月限の取引最終日を控えての持高調整の意味合いも強く、調整売りをこなしつつ、徐々に下値を固める展開になろう。値を崩していくリスクというよりも、短期調整リスクに留まる見通し。現時点では中国経済の復調が強く疑問視されている訳ではなく、5月にはOPECプラス参加国が日量115.7万バレルの減産に踏み切る予定になっている。直ちに在庫のタイト感が強まるような環境にはないが、時間の経過とともに供給過剰から供給不足に転換していく見通しには変化が見られない。緩やかな逆サヤ（期近高・期先安）環境が維持されていることもポジティブ。マーケット環境が落ち着きを取り戻すと、改めて80ドル台での取引に回帰しよう。「供給不安で売り」、「需要不安で買い」の不安定な地合が続くが、基調としては上向きとの評価が維持されよう。

大きなイベントは予定されていないが、27日に1~3月期米国総生産（GDP）が発表される。また、ドライブシーズンに向かうが、原油やガソリン在庫の取り崩しがみられた際には、買い安心感が強まろう。



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

